



環境まちづくり

Vol.28



会長
木内 勝司

入間市環境基本条例では、自然生態系の保全とともに環境への負荷の少ない持続的に発展できる循環型社会の構築がうたわれています。

一方、2015年に国連で採択された「SDGs（持続可能な開発目標、Sustainable Development Goals）」は、持続可能な社会をつくることを目指し、世界が抱える問題を17の目標と169のターゲットに整理したものです。貧困問題、気候変動や資源工ネルギー、都市問題、地域間・国内格差など、2030年までの達成に向けて世界が一致して取り組むべきビジョンと

- 課題が網羅されています。その中でとくに「環境まちづくり」に関わりが深いと思われる基本目標を抜粋すると、
- ⑦ エネルギーをみんなにそしてクリーンに
 - ⑪ 住み続けられるまちづくりを
 - ⑫ つくる責任つかう責任
 - ⑬ 気候変動に具体的な対策を
 - ⑮ 陸の豊かさを守ろう
- などがあげられます。
- 具体的な内容についてはここでは割愛しますが、インターネットで検索してみると、ちよつと立ち止まって考える「環境問題」を理解する上で、いいヒントが得られるかもしれません。

地下宮殿を見に行こう

見学会

11月6日（月）、見学会が開催されました。この見学会は今年で4回目、毎回約5倍の申し込みがある大人気の場所です。

首都圏外郭放水路は、中川・倉松川・大落古利根川の洪水を防ぐ目的で、一部を江戸川



へ放流できるように各河川間をトンネルで結び、流域の浸水被害を解消または軽減し、より安全な生活環境をつくりだすために建設されたものです。

見学は100段の階段を歩けることが条件で、全員が元氣いっぱい地下貯水槽まで下りて行くことが出来ました。長さ177m 幅78m 高さ18mの地下貯水槽はサッカーが出来るほどの広さで、コンクリート柱は長さ7m 幅2m 高さ18mで59本あり、地下宮殿さながらの光景に圧倒された人が多数でした。

今回は、見学日の前の週末まで地下貯水槽に水が入っており、水を放水して見学できることになったばかりでしたが、毎年7回程度、洪水を防ぐために地下貯水槽に河川の水を入れていくそうです。

（地球温暖化防止部云

本多進 記）

第6回 いるま環境フェア

10月1日(日)、産業文化センターで、「いるま」から発信！私が取り組む環境のカタチ」をテーマに第6回いるま環境フェアが行われました。開催6年目を迎え、市民団体、企業、行政の環境に対する取り組みをより効果的に発表できる場として、来場者には楽しく体験できるコーナーや音



展示コーナー

楽、実演を見ながら環境への取り組みを学べる場として定着したイベントになってきたと思います。オープニングでは環境川柳の授賞式が行われ、多くの応募作品の中から小学生、一般の部のそれぞれについて市長賞、実行委員長賞が発表されました。その後、東野高校吹奏楽部のコンサートと入間をアピールするパラパラが披露されました。続いて、自然を大切にする米国ハワイ州の話とあわせて、かわいい子供たちのダンス、美しい自然を表現したフラダンスが大きな拍手を浴びました。



ホールイベント(フラダンス)

市内企業の環境に関する取り組みがわかりやすく紹介される展示は、今回も大変好評でした。直接、説明を聞きながら関連グッズが配布され、印象に残る展示となりました。より多くの企業が参加して、多くの市民に優れた取り組みの情報が伝わるのが期待されます。市民の日ごろの活動発表では、加治丘陵や入間川・霞川の自然保護、管理に関わる活動に加え、自治会や自然に親しむ活動など幅広い市民の活動が所属会員によって親しみやすく紹介されました。

今回は、FM茶笛が「地球温暖化対策のための国民運動、COOL CHOICEに賛同しよう！」のブースを設置して環境に対する新しい試みを紹介しました。環境にやさしいカフェでもコーヒーのほかに心の環境を考えるコーナーが設置されました。体験コーナーでは、おもちや病院と小枝のペント、ストラップづくりが子供たちでにぎわいました。模擬店は、おいしい軽食の提供に加え、入間市の新鮮野菜が販売され大変好評でした。ホールでは最後に、東日本大震災で被災した宮城県岩沼市に1年間派遣された入間市役所職員(現在も交代で職員が派遣されています)により「復興の先にある未来」が現地の多くの写真を見



体験コーナー

せながら報告されました。被災から、現在復興途中の様子を現地の人々と生活を共にして働いた職員の話は、「住民参加の復興・本場の自治の姿」として、記事として後日、埼玉新聞に掲載されました。

来年も、より多くの市民が来場する「いるま環境フェア」として、今から、スタートを切りたいと思います。

(川名千鶴子 記)

環境 ウォーキング

秋も深まった11月25日（土）、昨雨が雨天中止となったため2年ぶりに環境ウォーキングが行われました。



入間川コース

空模様が心配されましたが、当日は早朝から吸い込まれるような青空の下、最高のウォーキング日和に恵まれました。

入間川と加治丘陵の2つのコースに、あわせて約50名の参加があり、役員・スタッフと共に身近な地元の自然を感じながらおよそ3時間の散策を楽しみました。

入間川コースは、入間市駅北口を出発、武蔵豊岡教会↓入



加治丘陵コース

間川・霞川合流点↓笹井堰を巡る約5km、加治丘陵コースは、文化創造アトリエ・アミーゴから加治丘陵↓牛沢カタクリの里↓高倉寺と周る6km強を歩き、ゴールのまぢや公園で合流しました。

加治丘陵コースでは、初めての試みとしてノルディック・ウォーク体験を導入し、希望者はスキーストックのような

ポールを手に加治丘陵の山道を歩きました。また、どちらのコースでもカワセミ、ウ、アオサギ、ダ

イサギ、コサギなど多くの野鳥の歓迎を受け、入間にも素晴らしい自然が残されていることを実感

しながら深まりゆく奥武蔵の秋を堪能する一日となりました。

(新井格 記)

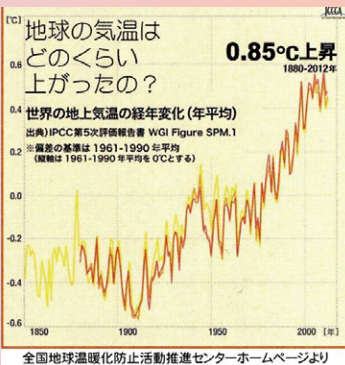


地球の気候は、窒素78%、酸素21%などで地球温暖化の原因と言われている二酸化炭素(CO₂)はわずか0.03%です。このCO₂などの温室効果ガスのほんの少しの増加によって温暖化が加速します。地球の気候はこ

の微妙なバランスの上になり立っています。世界の平均気温は1880年〜2012年で0.85℃上昇しました。特に最近30年の各10年間は1850年以降のどの10年間よりも高温で、近年になるほど温暖化が加速しています。温暖化は農作物の高温障害や台風などによる洪水被害の増加など、世界各地で深刻な影響を与えていると考えられます。温暖化の原因は人間の活動によって排出されるCO₂などの温室効果ガスの増加と言われています。「地球温暖化防止部会」では一番対策が遅れていると言われる家庭のCO₂排出量削減のため県の「エコ

ライフ・デー・チェックシート」を利用して毎年2回の削減運動を行っています。一人一人の小さな努力が大きな力となってCO₂排出量減少に繋がることを願っています。

(地球温暖化防止部会 本多進 記)



エコライフDAY2017(冬) チェックシート

下のエコライフ項目を見ながら、今日は1日、環境のことを考えて生活してみよう!!

項目	達成した	達成した	達成した	達成した
1 部屋の照明をすべて消す(15分以内)	153	153	153	153
2 毎朝の歯磨きを1分以内にする(17分以内)	117	117	117	117
3 洗面台の水を流すとき、水を流す時間を短くする(1分以内)	75	75	75	75
4 洗濯機の水を流すとき、水を流す時間を短くする(1分以内)	35	35	35	35
5 部屋の照明をすべて消す(15分以内)	112	112	112	112
6 冷蔵庫の扉は、むやみに開かない(14分以内)	14	14	14	14
7 トイレ(洗面所)を流すとき、水を流す時間を短くする(1分以内)	67	67	67	67
8 浴槽の水を流すとき、水を流す時間を短くする(1分以内)	41	41	41	41
9 冷蔵庫の扉を流すとき、水を流す時間を短くする(1分以内)	55	55	55	55
10 洗濯機の水を流すとき、水を流す時間を短くする(1分以内)	78	78	78	78
11 洗面台の水を流すとき、水を流す時間を短くする(1分以内)	82	82	82	82
12 冷蔵庫の扉を流すとき、水を流す時間を短くする(1分以内)	233	233	233	233
13 部屋の照明をすべて消す(15分以内)	16	16	16	16
14 シャワーを浴槽の水を流すとき、水を流す時間を短くする(1分以内)	72	72	72	72
15 洗面台の水を流すとき、水を流す時間を短くする(1分以内)	113	113	113	113
16 部屋の照明をすべて消す(15分以内)	9	9	9	9
17 冷蔵庫の扉を流すとき、水を流す時間を短くする(1分以内)	37	37	37	37
18 洗面台の水を流すとき、水を流す時間を短くする(1分以内)	56	56	56	56
19 出かけるときは、水筒やマイボトルを持参する(38分)	38	38	38	38
20 出かけるときは自転車に乗りこぎ、徒歩・自転車・バス・電車を利用する(309分)	309	309	309	309

埼玉県のエコライフ・デー・チェックシート

埼玉県生態系保護協会入間支部

代表 日比 章子

未来の子供達に豊かな生態系を残すため、ビオトープ（生き物が棲める環境）創りや保護樹林の管理、観察会や子供向けのイベント、学校の授業支援などを行ってきました。代表的な活動は不老川の大森調節池（宮寺）のビオトープ化です。生き物が繁殖したり棲息できるよう、林を植樹したり、自然に近い池づくりをしてきました（写真1）。今では不老川の魚の供給源ともなっています（写真2）。「治水と環境が調和した事例」「狭山丘陵と加治丘陵をつなぐ緑の回廊の創出」と県内でも注目を集めました。

草刈りや間伐作業の後には、林で採れた野草の天ぷら（写真3）や暖かい豚汁！生き物がいっぱい自然の中で快適な時間を楽しむことも重要だと私達は考えています。作業はどなたでも参加できます。入間の財産を将来につなげるため皆さんの力が必要です。（連絡先04-2963-7394）

団体紹介コーナー

詳しくはホームページをご覧ください
<https://iruma-seitaikei.localinfo.jp>



写真1



写真2



写真3

平成29年度の事業報告

- 5月 ● 総会
 - 本田技研寄居工場・さいたま環境整備センター見学
- 7月 ● 路上喫煙防止キャンペーンに参加
- 9月 ● 環境に関する団体との交流会
- 10月 ● 第6回いるま環境フェア開催
 - ごみ減量・マイバッグ推進キャンペーンに参加
 - いるま万燈まつり会場のごみ拾いを実施
- 11月 ● 首都圏外郭放水路・キックマン醤油見学
 - 環境ウォーキング開催
- 12月 ● 生涯学習フェスティバルに参加
- 3月 ● 会報の発行

※ 7月～9月及び12月～2月にエコライフ・デー活動を実施

※ ごみひろい隊の活動は、毎月第2日曜日に豊岡コースと藤沢コースを交替で実施（詳しくは、ホームページの「ごみひろい隊」をご覧ください）

入間市環境まちづくり会議

検索

URL : <http://www.kankyo-iruma.net/>

会員数 393 (人・団体)

入間市環境まちづくり会議

事務局 入間市役所環境経済部環境課

TEL 04-2964-1111 (内線 4221、4222)

FAX 04-2965-0232 (代表)

